

アセットマネジメント部門

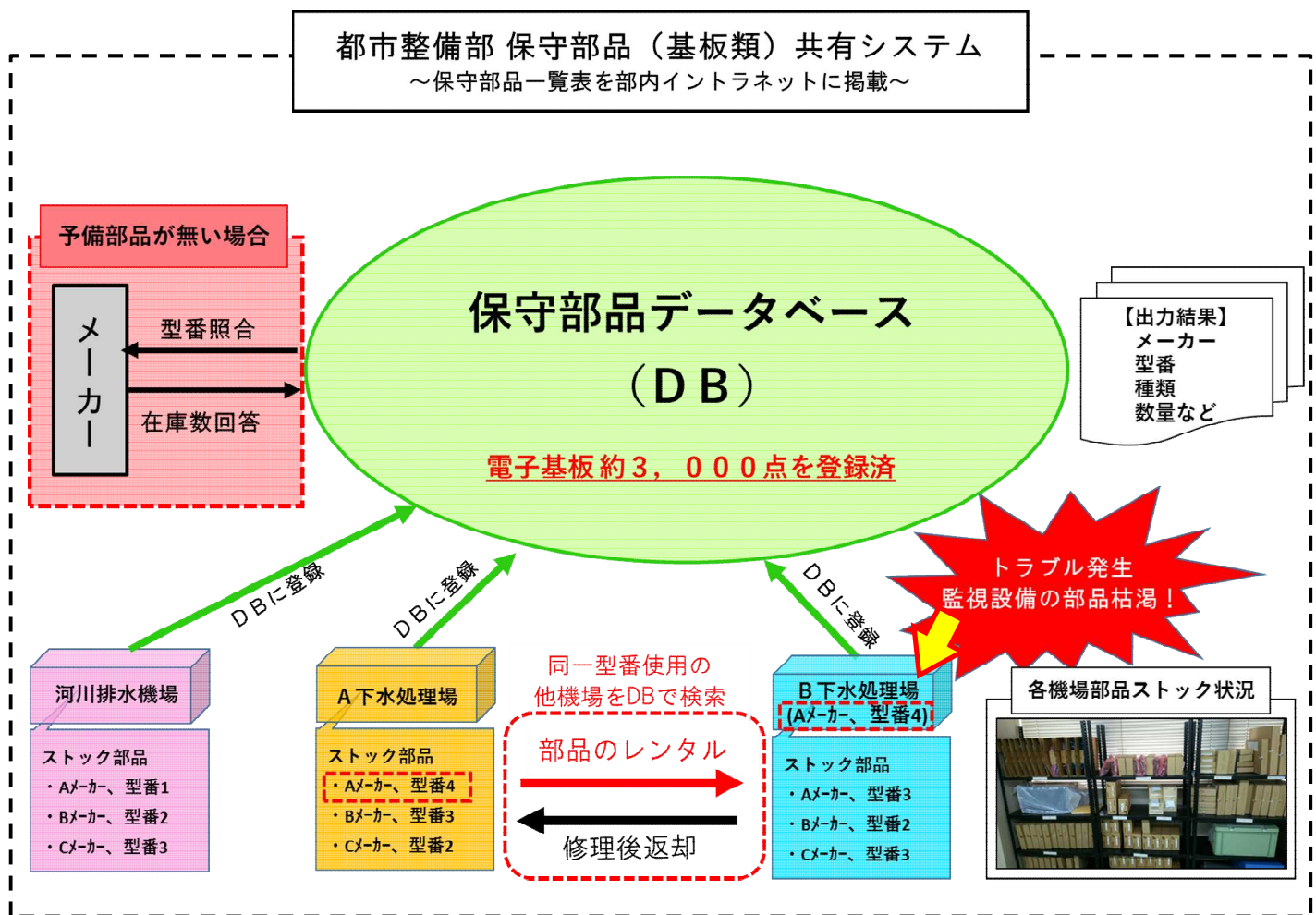
応募事例名

万が一に備える！保守部品共有システムの構築

応募団体名) 大阪府

応募事例の概要

◆増大する老朽化施設の突然の故障に備え、各機場で保有している保守部品を共有するシステムを構築し、下水道の安定的な運営に役立てています。



PRポイント

大阪府の流域下水道事業は、昭和40年から順次着手し事業を進めた結果、府域全体の下水道普及率は95.8%（平成27年度末）に達しました。一方、建設から半世紀が経ち膨大なストックを有する中、処理場・ポンプ場の機械・電気設備の多くが耐用年数を迎えていることから、長寿命化などの取組みを進めていますが、老朽化施設の増大により突発的な故障リスクが増大している状況の中で、メーカー製造中止等の理由により、設備の故障の際、必要部品を早期に入手できないといった課題がありました。そこで、施設の更新時には、既存の設備で使用可能な部品を処分せずに各機場に保管し、これらをデータベース化して共有化することにより、突然の故障に対して部品を融通し合えるようにしました。この取り組みは下水道施設だけでなく河川施設などとも連携して行っています。